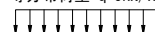


# 簡易土留め（柵板・H鋼）

上載荷重

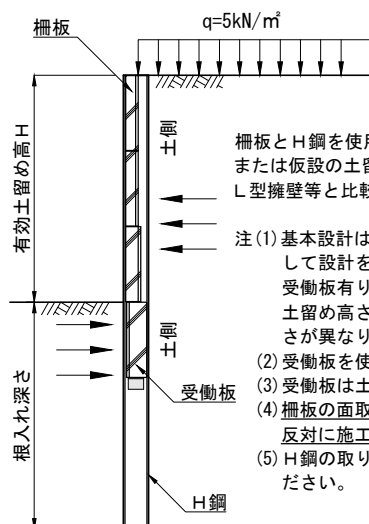
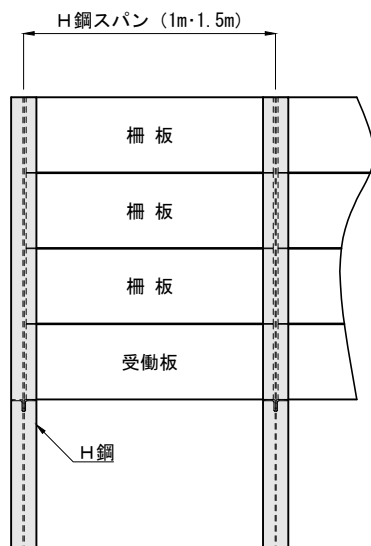
等分布荷重  $q=5\text{kN/m}^2$



CAD DWG  
data SFC

## 施工例(参考)

単位：mm



柵板とH鋼を使用して土留め壁高さ $H=300\sim 900\text{mm}$ くらいの簡易の土留め、または仮設の土留めとする場合に使用します。

L型擁壁等と比較しても施工が簡便で経済的に土留めを構築できます。

注(1) 基本設計は背面土がレベルで、上載荷重は群衆荷重 $5\text{kN/m}^2$ 程度を考慮して設計をしています。

受働板有りの場合や盛り土の場合も安定構造計算が可能です。

土留め高さや現場の土質等の設計条件によりH鋼のサイズや根入れ深さが異なりますので、あらかじめ担当営業にお問い合わせください。

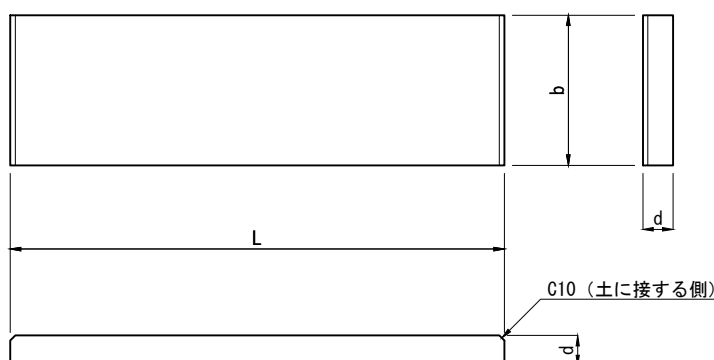
(2) 受働板を使用することによりH鋼の根入れ深さを浅くすることができます。

(3) 受働板は土側に寄せて、施工してください。

(4) 柵板の面取りがある側が土側、受働板は面取り無し側が土側ですので、反対に施工されないようにご注意ください。

(5) H鋼の取り扱いもしております。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

## 柵板・受働板



呼び名		寸法 (mm)			参考質量 (kg)	抵抗モーメント $M_{ra}$ (kN・m)
		L	b	d		
柵板	50	980	298	50	34	0.3454
		1480			52	
	60	980		60	41	0.6600
		1480			62	
	80	980		80	55	1.0140
		1480			82	
受働板	80	980		80	55	2.9470
		1480			82	

製品名

簡易土留め

参考質量

製図

規格

柵板 (5cm・6cm・8cm)

受働板 (8cm)

縮尺

1/15

図示

E2014.09.26 R2025.03.05

設計

図面番号



東洋コンクリート工業株式会社